研究協力のお願い

札幌孝仁会記念病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

題名

^{13}N-アンモニア PET から算出される心筋ストレインがもたらす臨床的意義の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2025 年 1 月 1 日から 2029 年 12 月 31 日までの期間に、札幌孝仁会記念病院において、安静及び負荷（薬剤負荷）心筋血流 PET 検査と心エコー検査を同時期（前後 1 ヵ月程度）に実施した症例

2. 研究目的・方法

（研究目的）

佐賀大学河窪先生の開発した PET ストレイン解析ソフトを使用し、当院で検査されたアンモニア PET の解析を行い、ストレイン解析の標準的な方法である心エコーと比較する。

また、左室および右室のストレインにおいて安静時に加え ATP 負荷時のストレインを算出できるため新たな指標を検討する。

（検討方法）

PET ストレインは佐賀大学の河窪先生が開発したソフトを使用し、心エコーで求めたストレインの結果と比較する。

エコーストレインと PET ストレインの相関の高い処理方法を検討し PET ストレインの臨床的意義について他の心機能解析結果等を含め検討する。

心筋ストレインは LVEF 等の心機能評価と比較し早期に変化が現れるとされている。

アンモニア PET で虚血評価と同時に心筋ストレインの評価が可能なため再現性の高い評価と負荷時の知見が得られる。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

札幌孝仁会記念病院の臨床現場で使用されている PET 用心筋血流製剤 13N-アンモニア投与下における心筋血流 PET 検査および心エコー検査で得られた画像と解析結果、及び臨床所見を使用します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。
研究責任者及び連絡先:
所属:社会医療法人孝仁会 北札幌孝仁会記念病院 画像診断部　氏名:安藤　彰
住所:063-0052 札幌市西区宮の沢 2 条 1 丁目 16-1　電話番号:011-665-0020
受付時間:平日 9 時～17 時
また、本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反(conflict of interest)はありません。

5. その他

将来本研究とは別の研究に使用する可能性又は他の研究機関に提供する可能性があります。その際は新たな研究として、該当する倫理審査委員会の審査を受け承認を得てから実施します。